

ICT利活用教育の 取組の背景と目的

今日の社会では、高度情報化やグローバル化、少子高齢化等が急速に進んでいます。そうした中、今後ますます重要視されるのが、情報活用能力やコミュニケーション力です。その育成を通して、児童生徒一人ひとりが、社会の変化に主体的に対応し、生涯にわたって夢や目標を持ち続け、その実現に取り組むことができるようにすることが、今日及びこれからの教育には求められています。

佐賀県では、一人ひとりの個性や能力に応じたわかりやすい授業を実施し、情報活用能力やコミュニケーション力の向上等につなげることを目的に、全県規模でICT利活用教育に取り組んでいます。特に平成26年度からは、県立高校全校で、電子黒板と一人1台個人所有の学習用パソコンを使用した教育を進めています。

県教育委員会では、今後も引き続き、よりよい教育の実現に向けて、ICT利活用教育に取り組めます。

新たな時代に対応した学習スタイル

次期学習指導要領の実施に向けて、主体的・対話的で深い学びへの関心が高まっており、その実現にはICTの利活用が効果的と考えられています。

現行の学習指導要領においても、授業を通して、コンピュータ等の操作スキル、情報モラルやネットワーク等の知識を身に付け、ICTを主体的に活用できるように示されています。

佐賀県では、ICT利活用教育に取り組むことにより、「情報を調べたり収集したりする」「文章や表・グラフを作成する」「スライドや資料を使って発表する」といった主体的な学習活動を通して、生徒の皆さんの情報活用能力の育成を図っていきます。

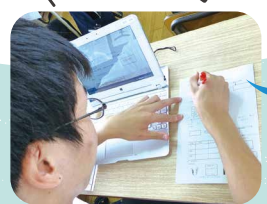
先生の発問



共有化



問いへの回答



情報セキュリティについて

情報社会において私たちは、その“光”の部分を享受する一方、“影”の部分からも大きな影響を受けています。情報の担い手として、適切に情報を取り扱うとともに、加害者や被害者とならないよう、情報モラルや情報セキュリティについても学んでいくことが大切です。

また、デジタル教科書・教材などの著作物には、それを創作した人の権利（著作権）があります。引用等についての規定を守り、著作物の管理に留意しつつ、学習に生かしていきます。



子どもが不適切なインターネットサイトにアクセスしたり、SNSを使って犯罪に巻き込まれたりしないか心配ですが、その対策はどうなっていますか？

A

学校や保護者の皆様との協議の結果、学習用パソコンには、子どもが安心して使えるように、不適切なサイトへのアクセスを制限するフィルタリングソフトやウイルス感染を防ぐウイルス対策ソフト、そのほか、学習用パソコンを紛失した際にパソコンのデータを保護するソフトの導入など、セキュリティに関する対策を行っています。また、学習に不要な機能については、機械的に使用制限をかけています。



学習用パソコンの概要

佐賀県立高校で使用している学習用パソコンについて

県教育委員会では、操作性等の面から総合的に判断し、県立高校で使用する学習用パソコン(キーボード付のタブレット型パソコン)の仕様を指定しています。

参考

平成29年度に県立高校の1年生に紹介した学習用パソコンの主な仕様

- Windows 10 Enterprise 64bit
- 10.1型ワイドディスプレイ
- マイクロSDXCカード
- 本体に収納可能なスタイラスペン
- Microsoft Office Professional Plus2016 (Word/Excel/PowerPoint/Access/OneNote等)、電子辞書ソフト(国語、英和、和英、古語)、情報倫理デジタルビデオ、佐賀新聞電子版を標準装備
- ウイルス対策ソフト及び不適切なウェブサイトへのアクセスを制限するフィルタリングソフト等のセキュリティソフトをインストール済み
- 取り外し可能なキーボード付き
- カメラ及び無線LAN内蔵
- バッテリー駆動時間 約10時間(JEITA2.0)
- キャリングケース



高校生ICT利活用プレゼンテーション大会について

ICTへの関心や情報活用能力を高めるため、毎年、プレゼンテーション大会を開催しています。平成28年度は、17校から33グループ(個人を含む)の応募がありました。学校で学んだことから発表内容を設定し、学習用パソコンなどで発表資料を作成し、高校生ならではの視点で情報発信を行っています。



参加者の声

【発表者】「緊張しましたが、とてもよい経験をした。自信につながった。」
「他校のプレゼンを見て勉強になった。」

【一般】「舞台上立って表現する力を培っている事に大変驚いた。」
「これから社会に出る生徒が、必要な発表スキルについて学ぶための大変良いきっかけである。」

平成28年度受賞者一覧 (会場●佐賀市文化会館大ホール)

最優秀賞	鳥栖商業高等学校 (情報処理部VR班)	「VRアプリを作ってみた」 私達は日頃コンピュータ技術を活かし、流行を少し先取りするような研究を行っています。VRアプリを制作し、学習用パソコンで試してみることができました。その結果を発表しました。
優秀賞	牛津高等学校 (起業家入門1・佐賀県班)	「佐賀県魅力発信プロジェクト～科目「起業家入門1」の取り組み～」 未知の佐賀の魅力が周知され、単発ではない地域活性化へとつなげることを目的に、学校設定科目「起業家入門1」で、佐賀県の実情を発信することを旨とした企画提案を行いました。
優秀賞	佐賀西高等学校 (橋口尚実)	「私が進路決定に至るまで」 高校生の私たちにとって一番大切で難しい「進路選択」。私たちは、よりよい将来のためにどのように進路を選択すべきなのか。佐賀西高の「総合的な学習の時間」で学んだ進路選択の方法を発表しました。

教職員によるICT利活用教育指導事例発表について

県内の先生方が優れた指導事例を共有することで、佐賀県全体の教育の質を向上させるため、各学校の先生方の指導事例の発表会を開催しています。

平成28年度受賞者一覧

最優秀賞	佐賀県立佐賀商業高等学校 田中晴子教諭	理科・科学と人間生活	化学の基礎
優秀賞	白石町立白石小学校 井上富久子教諭	算数	比とその利用
優秀賞	佐賀市立西与賀小学校 江里口大輔教諭	国語	ICT利活用を位置づけた国語科単元学習の工夫
優秀賞	佐賀大学教育学部附属中学校 溝田貴章教諭	学校行事 道徳 数学	新しい時代の学びを意識したICT利活用の実践事例 一校内ネットワークと汎用的ソフトウェアを用いて
優秀賞	佐賀県立多久高等学校 寺田弘教諭	英語	みんなの英語道場4 (デジタル教材)

※学校名・職は平成28年度受賞当時のものです

佐賀県ICT利活用教育フェスタについて

教育関係者、保護者、一般の方々を対象に、佐賀県が全県規模で取り組んでいる教育の情報化について紹介しています。

また、著名な講師をお招きして、ICTの世界的な動向や国の方針など、最新の情報を共有することで、より一層の教育の情報化の推進を図っています。



平成28年度教育フェスタの開催状況

平成28年10月実施
会場：佐賀市文化会館 他
参加者数：1,928名

佐賀県内の教育、授業の方法が確実に変化してきていることが実感できた
一般Aさん

参加者の声

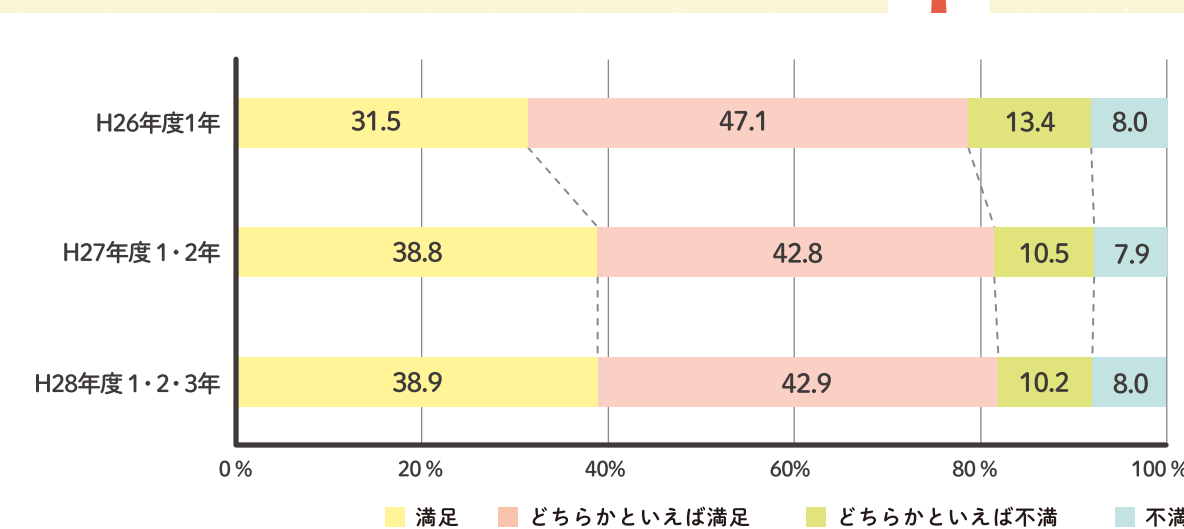
ICTを有効に活用し、子供の興味関心を高めたり理解を深めたりするための工夫がなされていることが分かった
一般Bさん

生徒のみなさんの意識について

ICT利活用教育の充実により、教育の質を向上させることを目指し、生徒のみなさんに意識調査を実施しています。下のグラフは、学習用パソコン導入から3年間の県立高校生の意識を比較したものです。

調査対象：県立高校生
調査時期：H27年3月末、H28年3月末、H29年2月末

Q. ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか？
ICTを利活用した授業の満足度



「満足」「どちらかといえば満足」は
80%を超えています!

